

Panasonic®

取扱説明書

オールインワンヘッドセット

品番 WX-CH450



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

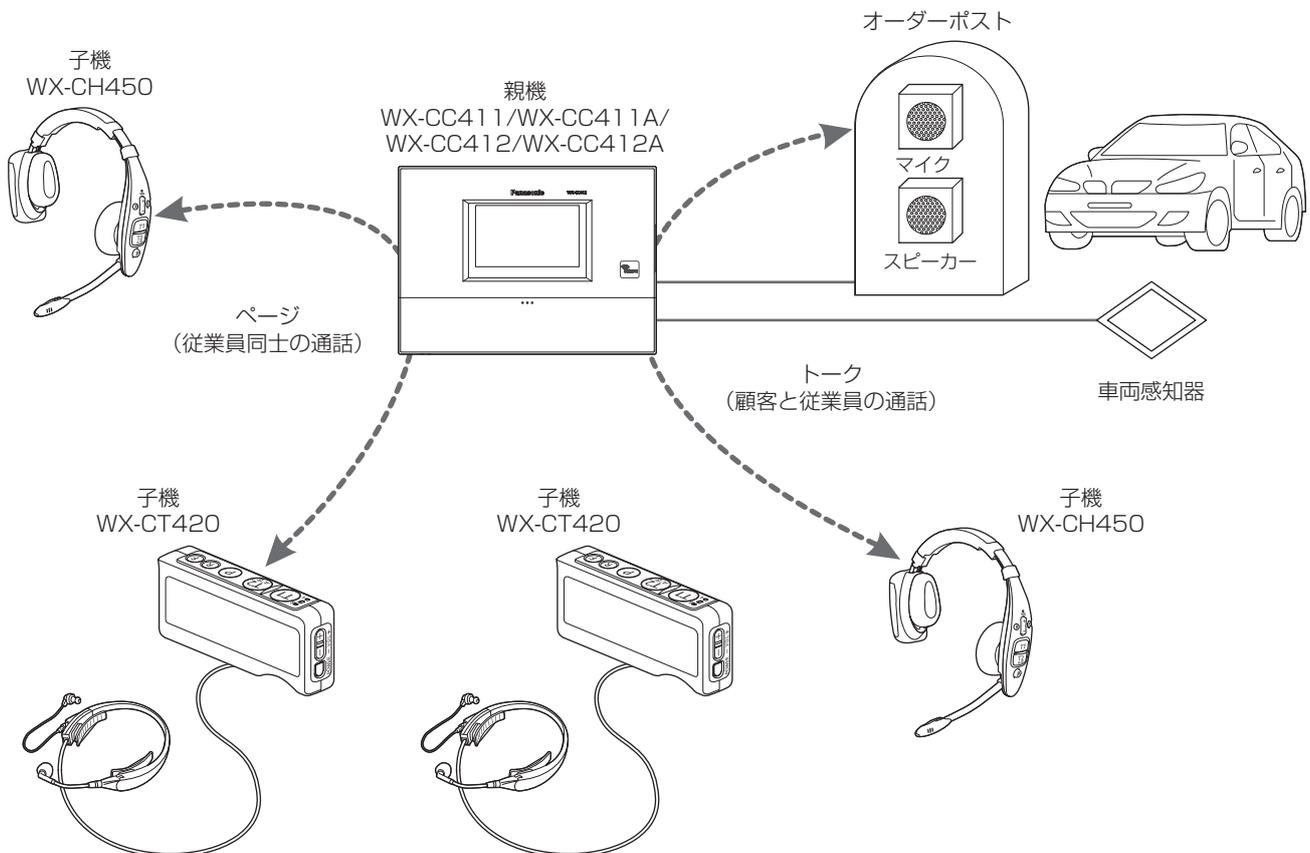
■商品概要

オールインワンヘッドセット（以下ヘッドセット）WX-CH450はファストフード店のドライブスルーシステム用に設計された、無線通信システムの子機です。本機は、アンテナ、送信機、受信機を内蔵したヘッドセットで、本機を装着することで他の子機を持つ従業員やオーダーポストにいる顧客との通話ができます。

- 本機は、センターモジュール（WX-CC411、WX-CC411A、WX-CC412、WX-CC412A）専用の子機です。
- 本機では、1.9 GHz帯 DECT※準拠方式を採用しているため、2.4 GHz以上を使用する電子レンジや無線LANからの干渉を受けません。
※ デジタルコードレス電話の通信規格（Digital Enhanced Cordless Telecommunications の略）
- マネージャーモード
センターモジュールの各レーンにつき子機1台をマネージャーモードとして登録することができます。マネージャーモードに設定された子機は、通話の優先権を持ちます。
- 顧客がオーダーポストに近づくと、自動的に通信が確立し、顧客との通話を始められます（オートトークロックモード設定時）
- デュアルレーンシステムでの運用の場合、ダイレクトにレーンを選択したり、レーンを切り換えて運用することができます。
- トークロック、プレストウ トークのモード選択ができます。
- ページロック、プレストウ ページのモード選択ができます。
- ファンクションボタンによりセンターモジュールを通して外部にメール通知等を行うことができます。

■システムイメージ図

本機を含む子機は、親機であるセンターモジュールと無線接続することで、子機同士、またはオーダーポストにいる顧客との通話ができます。



■ 付属品をご確認ください

保証書 1 式
取扱説明書 (本書) 1 冊

■ 免責について

弊社はいかなる場合でも以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の故意や誤使用、不注意による損害または本商品の破損など
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

■ 電波について

- 本機は、1,895.616 ~ 1,902.528 MHz の帯域を使用する、デジタルコードレス電話の無線局の無線設備です。
(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)
- J-DECT ロゴは、DECT Forum の商標です。J-DECT のロゴは ARIB STD-T101 に準拠した 1.9 GHz 帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。
- 本機の使用周波数に関わるご注意

1.9-D

J-DECT

- 本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機から電池を取り外して、お買い上げの販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など (例えば、パーティションの設置など) についてご相談ください。
 2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター (裏表紙) へお問い合わせください。

もくじ

はじめに	2	設定	15
商品概要	2	マネージャーモード設定	15
システムイメージ図	2	マネージャーモード解除	15
付属品をご確認ください	3	オートトークロック設定	16
免責について	3	ID登録	16
電波について	3	ボイスプロンプト切り換え	17
安全上のご注意	5	親機サーチ	17
取り扱い上のお願ひ	7	初期化	18
各部の名前とはたらき	8	お手入れ	19
電池の取り付けと取り外し	10	スイッチの設定方法	20
電池ケースの取り付け	10	スイッチカバー	20
電池の取り付け	10	ディップスイッチの設定	20
電池の取り外し	10	故障かな！？	21
使い方	11	仕様	21
準備	11	別売品	22
音量調整	12	ビープ音一覧	22
顧客との通話（トーク）	12	保証とアフターサービス	23
他の従業員との通話（ページ）	12		
アラート通知	13		
デュアルレーン運用	13		
通話の制限	14		
通信圏外	14		
電池	14		
電源を切る	14		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険

電池を火へ投入、加熱はしない



禁止

発熱・発火・破裂の原因となります。

電池にクギを刺したり、衝撃を与えたり、
分解・改造をしない



禁止

発熱・発火・破裂の原因となります。

電池の(+)と(-)を金属などで接触させない
ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち
運んだり保管したりしない



禁止

発熱・発火・破裂の原因となります。

電池を火のそばや炎天下など高温の場所で
充電・使用・放置しない



禁止

発熱・発火・破裂の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない



禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

分解・改造しない



分解禁止

感電や発火の原因となります。

注意

お手入れのときは電源を切る



感電の原因となります。

廃棄は専門業者に依頼する



燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災、やけどの原因となります。

リチウム電池は同一型名または同等品と交換する



異なる型の電池を使用すると、発熱、破裂、発火の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない



禁止

けがの原因となります。

取り扱い上のお願い



に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機は屋内専用です

- 屋外での使用はできません。
長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。
- 丁寧に取り扱いってください。本機は不適切な取扱いや保管によって損傷する部品が含まれています。

電池は

- 専用の電池 WX-B3030 を使用してください。また充電器 WX-Z3040A の取扱説明書も確認してください。
- 電池は、日光、火などの過度の熱にさらされることのないようにしてください。
- 取り扱い、保管方法については、電池の取扱説明書の指示にしたがってください。

イヤホーンには

- 専用のイヤホーンパッドを使用してください。そうしないと音声が歪んで、聞き取り難くなる場合があります。

植込み型医用機器を使用されている場合

- 本機を使用しないでください。機器が誤動作を起こすかもしれません。

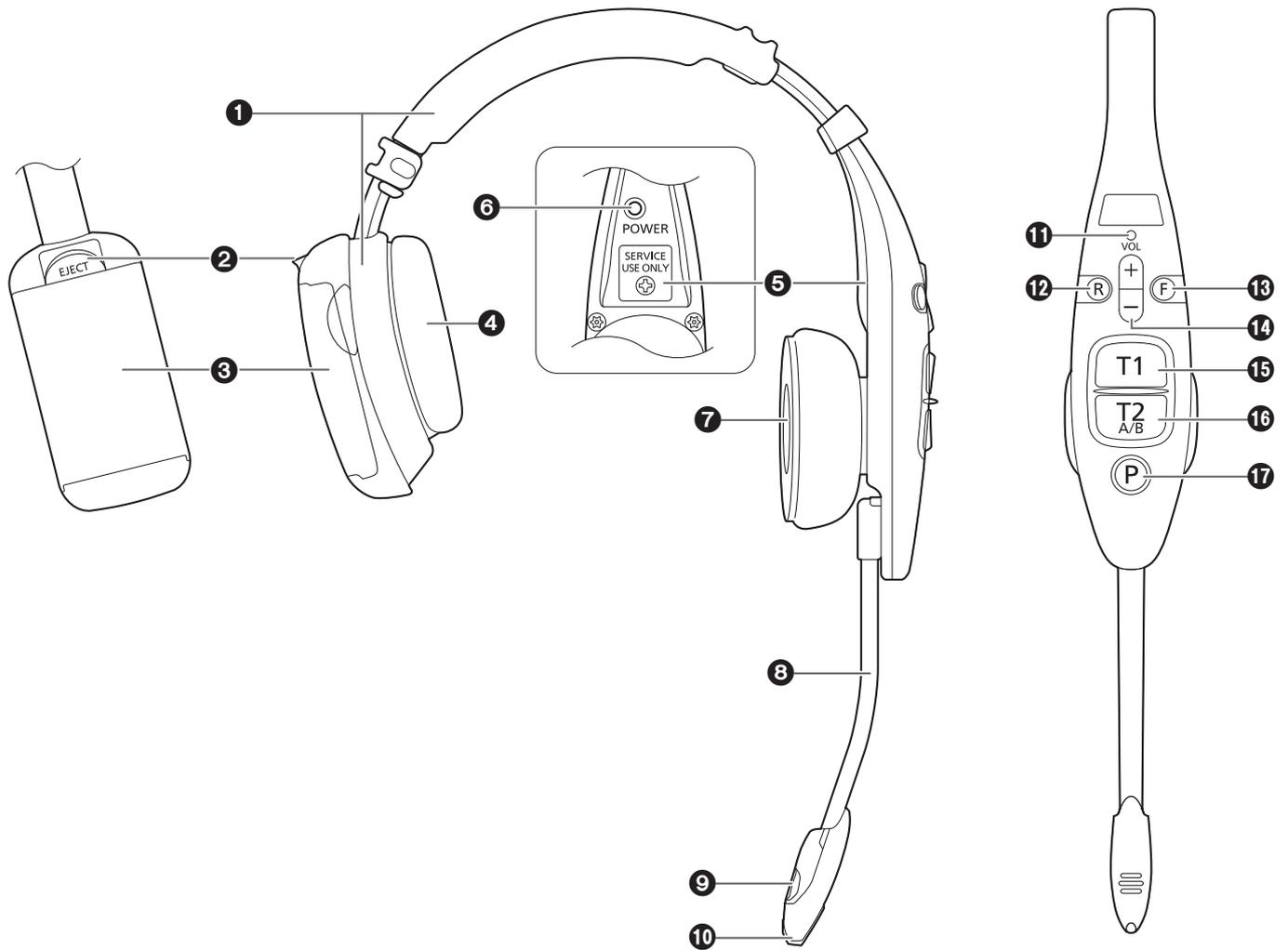
使用しないときは

- 電池の寿命を節約するために、使用しないときは本機の電源を切ってください。

長期間使用しない場合は

- 電池をそのままにせず、取り外してください。

各部の名前とはたらき



① ヘッドバンドとヘッドパッド

ヘッドパッドをスライドさせて、サイズを調整できます。

② 電池ロック [EJECT]

電池を取り外すときに、ロックをスライドさせて取り出します。電池を取り付けるときは、ロックが「カチッ」と音がするまで電池を押し込みます。

③ 電池ケース／電池 (別売り品)

電池は電池ケースに取り付けてから、本機に取り付けます。詳しくは、「電池の取り付けと取り外し」(10ページ)をお読みください。

④ ヘッドパッドクッション

⑤ スイッチカバー

本機の設定用ディップスイッチの保護カバーです。設置業者、およびサービスマン以外、本カバーは開けないでください。

⑥ 電源ボタン [POWER] POWER

本機の電源を「入/切」するボタンです。「切」は [POWER] ボタンを2秒以上押してください。

⑦ イヤホンパッド

⑧ マイクブーム

ブームの位置を変えて、口元に近い位置に調整します。

⑨ マイク

⑩ レーン表示灯

本表示灯により本機が接続しているレーンを表します。

橙点灯：レーンAに接続中を表します。

緑点灯：レーンBに接続中を表します。

橙点滅：レーンAに接続して通話中を表します。

緑点滅：レーンBに接続して通話中を表します。

11 電源表示灯

本表示灯により本機の状態を以下のように表します。

緑点灯：電源「入」の状態です。

緑点滅：マネージャーモード設定で、電源「入」の状態です。

赤点灯：電池残量がありません。充電済み電池と交換してください。

赤点滅：エラーが発生しています。

橙点滅：ID登録中で電源「入」の状態です。

12 機能拡張ボタン [R]

このボタンは機能拡張用です。

マネージャーモードでこのボタンを押下すると、トーク、ページを行うことができなくなります。

復旧させるにはもう1度このボタンを押してください。

13 ファンクションボタン [F]

このボタンを2秒以上長押しすることで、センターモジュールにセキュリティーアラートを通知します。

アラート発生時の動作はセンターモジュールの設定によりますが、「通話録音」「メール送信」などが実行できます。

14 音量調整ボタン [VOL +/-]

本機の音量を調整します。

[+] ボタンを押すと音量が大きくなります。ボタンを押すごとに「ピッ」と言う音量アップを知らせるピーブ音が鳴ります。また、音量の上限を超えて音量を上げようとすると「ピピッ」と禁止音が鳴ります。

[-] ボタンを押すと音量が小さくなります。ボタンを押すごとに「ブッ」と言う音量ダウンを知らせるピーブ音が鳴ります。また、音量の下限を超えて音量を下げようとすると「ブブッ」と禁止音が鳴ります。

また、音量レベルは本機の電源を「切/入」すると、初期状態（センター値）に戻ります。

15 トーク1ボタン [T1]

このボタンは、顧客との通話を制御します。

このボタンはディップスイッチの設定で動作が変わります。詳しくは「ディップスイッチの設定」(20ページ)をお読みください。

センターモジュールWX-CC411、WX-CC411A接続時

<プレストウトーク (PTT) 設定の場合>

[T1] ボタンを押している間、レーンAのオーダーポストにいる顧客と通話ができます。

<トークロック設定の場合>

[T1] ボタンを1度押すと、レーンAのオーダーポストにいる顧客と通話ができ、再度[T1] ボタンを押すと、通話を終了できます。

センターモジュールWX-CC412、WX-CC412A接続時

<プレストウトーク (PTT) 設定でダイレクト設定の場合>

[T1] ボタンを押している間、レーンAのオーダーポストにいる顧客と通話ができます。

<プレストウトーク (PTT) 設定でノーマル設定の場合>

[T1] ボタンを押している間、接続しているレーンのオーダーポストにいる顧客と通話ができます。

<トークロック設定でダイレクト設定の場合>

[T1] ボタンを1度押すと、レーンAのオーダーポストにいる顧客と通話ができ、再度[T1] ボタンを押すと、通話を終了できます。

<トークロック設定でノーマル設定の場合>

[T1] ボタンを1度押すと、接続しているレーンのオーダーポストにいる顧客と通話ができ、再度[T1] ボタンを押すと、通話を終了できます。

16 トーク2、レーンA/B選択ボタン [T2, A/B]

このボタンは、起動時のボタン操作によって動作が変わります。

ノーマル設定：[T1] ボタンを押しながら [POWER] ボタンを1秒以上押しして起動する。

ダイレクト設定：[T2] ボタンを押しながら [POWER] ボタンを1秒以上押しして起動する。

メモ

- [T2] ボタンの動作は初期化あるいは設定を変更しない限り保持されます。工場出荷状態は「ノーマル設定」で起動します。

センターモジュールWX-CC411、WX-CC411A接続時

[T1] ボタンと同じ動作になります。

センターモジュールWX-CC412、WX-CC412A接続時

<プレストウトーク (PTT) 設定でダイレクト設定の場合>

[T2] ボタンを押している間、レーンBのオーダーポストにいる顧客と通話ができます。

<トークロック設定でダイレクト設定の場合>

[T2] ボタンを1度押すと、レーンBのオーダーポストにいる顧客と通話ができ、再度[T2] ボタンを押すと、通話を終了できます。

<ノーマル設定の場合>

[T2] ボタンを1度押すと、デュアルレーンのレーンをレーンAからレーンBへ(またはその逆)切り換えを行います。センターモジュールWX-CC412、WX-CC412Aをご使用の場合のみ切り換えを行うことができます。

17 ページボタン [P]

このボタンは、従業員同士の通話を制御します。

<プレストウページモード (PTP) の場合>

[P] ボタンを押している間、他の従業員と通話ができます。

<ページロックモードの場合>

[P] ボタンを1度押すと、他の従業員と通話ができ、再度[P] ボタンを押すと、通話を終了します。

電池の取り付けと取り外し

メモ

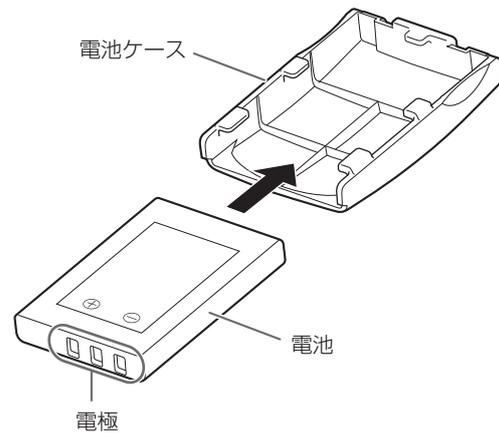
- 電池と充電器に付属の取扱説明書をお読みください。
- 必ずフル充電された電池を準備してください。
- 本機の電源表示灯が赤点灯し、イヤホンより「Battery Low」の音声が流れ、その後5秒間隔でピープ音が流れます。その状態になったら、電池の交換をお勧めします。

■ 電池ケースの取り付け

- 1 右図のように電池ケースに電池を挿入します。

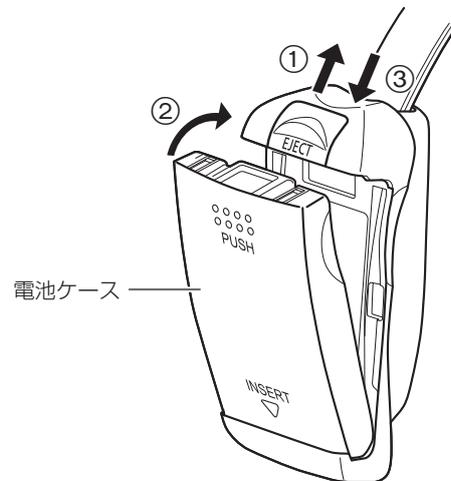
メモ

- 電池を挿入する際は、電極の側面を確認してください。



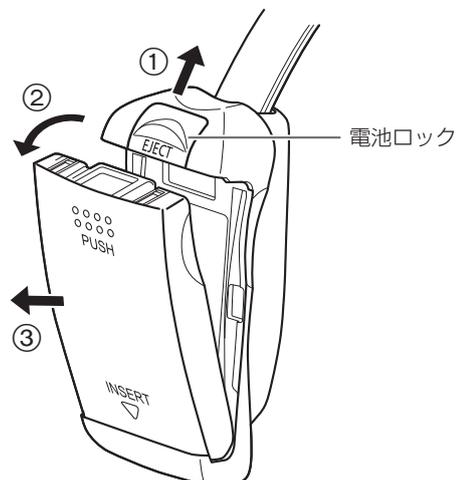
■ 電池の取り付け

- 1 右図の①～③の順で電池を取り付けます。
 - 「カチッ」と言うロック音がするまで電池を押し込みます。



■ 電池の取り外し

- 1 右図の①～③の順で電池を取り外します。



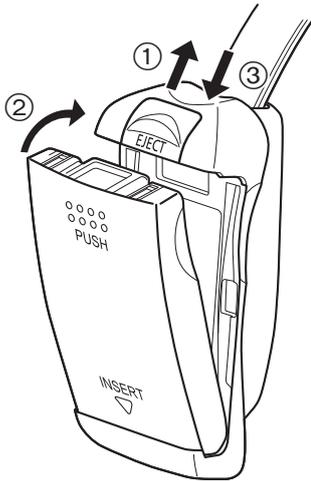
使い方

■ 準備

あらかじめ、センターモジュール、ヘッドセットなど、システムの各種設定が終了していることを確認します。

1 ケースを取り付けた電池を取り付けます。

詳しくは、「電池の取り付けと取り外し」(10ページ)をお読みください。

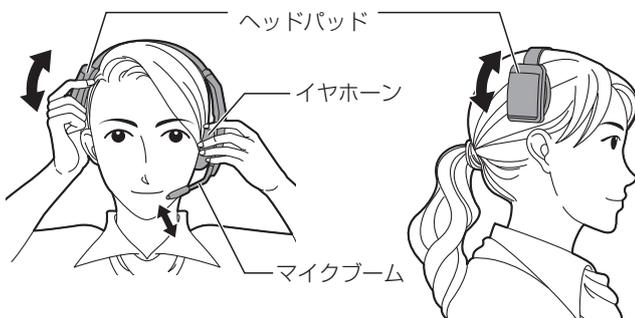


2 本機の [POWER] ボタンを押して、電源を入れます。

- 電源が起動すると、イヤホンから「Hello」「Headset **」(**はセンターモジュールに登録されたID番号)「レーン○」(○は接続しているレーン名)と音声がかかります。

3 本機を装着します。

イヤホン側を耳に合わせたあと、頭のサイズに合わせてヘッドパッドの位置を調整します。ヘッドパッドは、側頭部にフィットする位置に調整します。



マイクの位置が口元に近づくように、マイクブームを調整します。

装着時の注意

- イヤホン側は長さ調整できません。無理に引っ張ると故障の原因となります。
- 着脱時は、イヤホン側とヘッドパッド部を両手で持って着脱してください。マイクブームのみを持って外さないでください。



メモ

- 吊り下げ用ストラップを取り付けることも可能です。



使い方

■音量調整

[+] [-] ボタンを押してイヤホンからの音量を適切なレベルに調整します。

■顧客との通話（トーク）

子機を装着している、任意の従業員がオーダーポストに来店している顧客と双方向通話ができます。

- 車がオーダーポストに到着すると、本機のイヤホンより、来客を知らせるビープ音が聞こえます。

プレス トウ トーク (PTT) モード時

- 1 [T1] ボタンを押し続けます。
 - イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、オーダーポストにいる顧客と通話ができます。
- 2 [T1] ボタンを離します。
 - 通信が遮断され、通話が終了します。

トークロックモード時

- 1 [T1] ボタンを押します。
 - イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、オーダーポストにいる顧客と通話ができます。
- 2 再度 [T1] ボタンを押します。
 - 通信が遮断され、通話が終了します。

■他の従業員との通話（ページ）

子機を装着している従業員同士は、顧客に聞かれることなく双方向通話ができます。

プレス トウ ページ (PTP) モード時

- 1 [P] ボタンを押し続けます。
 - イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、他の従業員と通話ができます。
- 2 [P] ボタンを離します。
 - 通信が遮断され、通話が終了します。

ページロックモード時

- 1 [P] ボタンを押します。
 - イヤホンより通信確立を知らせるビープ音が聞こえてきます。この状態で本機のマイクに向かって話すと、他の従業員と通話ができます。
- 2 再度 [P] ボタンを押します。
 - 通信が遮断され、通話が終了します。

■アラート通知

子機を装着している従業員は、セキュリティーアラートをセンターモジュールに通知することができます。

1 [F] ボタンを2秒以上押します。

- イヤホンより通知完了を知らせるピーブ音が聞こえ、センターモジュールへセキュリティーアラートを通知します。

2 センターモジュールが子機からのセキュリティーアラートを受信すると、あらかじめ設定された動作（通話録音、メール通知、アラートメッセージ再生、カメラモニタリングなど）を実行することができます。

■デュアルレーン運用

デュアルレーン運用の場合、子機は通話するレーンを選択する必要があります。

ノーマル設定

レーンBへの切り換え

レーンAに接続中のヘッドセットは、レーン表示灯が橙色に点灯しています。

1 [T2] ボタンを押します。

- イヤホンから「レーンB」と聞こえ、レーン表示灯が緑色の点灯になり、レーンBへ接続が切り替わります。

レーンAへの切り換え

レーンBに接続中のヘッドセットは、レーン表示灯が緑色に点灯しています。

1 [T2] ボタンを押します。

- イヤホンから「レーンA」と聞こえ、レーン表示灯が橙色の点灯になり、レーンAへ接続が切り替わります。

ダイレクトレーン選択設定

レーンBへの切り換え

レーンAに接続中のヘッドセットは、レーン表示灯が橙色に点灯しています。

1 [T2] ボタンを押します。

- イヤホンから「レーンB」と聞こえ、レーン表示灯が緑色の点滅になり、レーンBへ接続が切り替わり、レーンBのオーダーポストにいる顧客と通話ができます。

レーンAへの切り換え

レーンBに接続中のヘッドセットは、レーン表示灯が緑色に点灯しています。

1 [T1] ボタンを押します。

- イヤホンから「レーンA」と聞こえ、レーン表示灯が橙色の点滅になり、レーンAへ接続が切り替わり、レーンAのオーダーポストにいる顧客と通話ができます。

使い方

■ 通話の制限

1 レーンあたり、同時に通話できる子機は4台までです。5台目以降の子機がトークまたはページを実行しようとする、イヤホンから異常ビープ音と「Cannot Connect」の音声が聞こえ、接続が拒否されます。ただ、5台目以降の子機でも、トークまたはページ中の通話内容を聞くことはできます。

■ 通信圏外

本機を装着した従業員が、通信圏外に移動すると、イヤホンから異常ビープ音と「Out of Range」の音声が聞こえ、通話が遮断されます。通信圏内に戻るとビープ音が聞こえて、通話が可能になります。

■ 電池

電池の残量が少なくなると、イヤホンから異常ビープ音と「Battery Low」の音声が流れ、その後5秒間隔でビープ音が流れます。同時に電源表示灯が赤に点灯します。この状態になったら、すみやかに、充電済みの電池と交換してください。

■ 電源を切る

- 1 [POWER] ボタンを2秒以上押し続けます。
 - イヤホンより「Goodbye」の音声が聞こえ、電源が切れ、電源表示灯が消灯します。

設定

■ マネージャーモード設定

- マネージャー設定された子機は、通話の優先権を与えられ、常に、トークやページ中の通話に割り込むことができます。
- 1台の子機のみマネージャーモード設定ができます。マネージャーモードの設定を行うには、ID登録が終了している必要があります。

1 [POWER] ボタンを2秒以上押して本機の電源を切ります。

2 [R] ボタンと [T1] ボタンを押しながら、[POWER] ボタンを1秒以上押して電源を入れます。

- 電源表示灯が赤と緑の交互点灯し、レーン表示灯は橙に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module A」と音声聞こえてきます。

デュアルレーン運用の場合

レーンBへの設定も必要です。

[R] ボタンと [T2] ボタンを押しながら、[POWER] ボタンを1秒以上押して電源を入れます。

- 電源表示灯が赤と緑の交互点灯し、レーン表示灯は緑に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module B」と音声聞こえてきます。

3 数秒後にイヤホンから「Manager」と音声聞こえたら、マネージャーモードの設定が完了し、電源表示灯が緑に点滅します。

- マネージャーモードの設定が失敗した場合は、イヤホンから異常ビープ音と「Failed」の音声聞こえ、電源表示灯が赤点滅し、異常状態を知らせます。この場合は、再度1からやり直してください。

メモ

- マネージャーモードの設定は、1レーンあたり1台の子機しか許可されません。2台目を設定した場合、1台目の子機は、強制的にマネージャーモードを解除されます。

■ マネージャーモード解除

1 マネージャーモードに設定されている子機の電源を切ります。

2 [R] ボタンと [T1] ボタンを押しながら、[POWER] ボタンを1秒以上押して電源を入れます。

- 電源表示灯が赤と緑の交互点灯し、レーン表示灯は橙に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module A」と音声聞こえてきます。

デュアルレーン運用の場合

レーンBのマネージャーモードを解除します。

[R] ボタンと [T2] ボタンを押しながら、[POWER] ボタンを1秒以上押して電源を入れます。

- 電源表示灯が赤と緑の交互点灯し、レーン表示灯は緑に点滅し、イヤホンからは「Connecting Center Module B」と音声聞こえてきます。

3 マネージャーモードが解除されたら、通常の状態になり、電源表示灯は緑に点灯します。

- マネージャーモードの解除に失敗した場合は、イヤホンから異常ビープ音と「Failed」の音声聞こえ、電源表示灯が赤点滅し、異常状態を知らせます。この場合は、再度1からやり直してください。

設定

■オートトークロック設定

オートトークロック機能とは、顧客の車がオーダーポストに到着すると、自動的に子機がトーク状態になる機能です。1つのレーンに1台の子機をオートトークロック設定できます。

- オートトークロックの設定を行うには、ID登録が終了している必要があります。
- **ディップスイッチNo.1** を「ON」に設定してある子機が対象になります。
詳しくは「ディップスイッチの設定」(20ページ)をお読みください。

1 [POWER] ボタンを押して、電源を入れます。

- 電源が起動すると、イヤホンから「Hello」「Headset **」(**はセンターモジュールに登録されたID番号)「レーン〇」(〇は接続しているレーン名)と音声聞こえてきます。

2 電源表示灯が緑／赤に交互点灯している3秒以内に、[T1] ボタン※を押します。

- レーンAへのオートトークロックの登録を行います。登録が完了すると、イヤホンから「Auto Talk ON」と聞こえ、電源表示灯の交互点灯は終了します。
- 本機起動後3秒以内に[T1]ボタンが押されなかったら、イヤホンから「Auto Talk Lock OFF」と聞こえ、通常子機として起動します。

※レーンBへのオートトークロックの登録の場合は、[T2]ボタンを使用します。

- オートトークロック登録に失敗すると、イヤホンから異常ビープ音と「Failed」と聞こえ、電源表示灯が赤点滅し、異常状態になります。この場合は、電源を切り、再度1からやり直してください。

メモ

- オートトークロック設定は、電源が切れると、その設定も解除されます。この機能を使用する場合は、必ず電源起動時にオートトークロック設定を実行してください。
- オートトークロック機能が有効な子機はディップスイッチNo.2の設定に関わらず、トークロック設定で動作します。
- オートトークロックの設定は、1レーンあたり1台の子機しか許可されません。2台目を設定した場合、1台目の子機は、強制的にオートトークロック設定が解除されます。

■ID登録

本機を使用するには、センターモジュールに本機のIDを登録する必要があります。センターモジュールにIDを登録することで、本機とセンターモジュール間の無線通信が可能になります。

1 センターモジュールを「ID Registration」モードに設定します。

詳しくは、センターモジュールの取扱説明書をお読みください。

2 [POWER] ボタンを2秒以上押して本機の電源を切ります。

3 [T1] ボタンと[T2] ボタンを押しながら、[POWER] ボタンを1秒以上押して電源を入れます。

- イヤホンから「Registration Mode」と音声聞こえてきて、本機は「ID Registration」モードで起動します。このとき電源表示灯は橙色に点滅します。

4 [T1] ボタンを押します。

- イヤホンから「Connectiong Center Module A」と音声聞こえてきて、レーン表示灯が橙色に点滅します。
- センターモジュールWX-CC412、WX-CC412A設置の場合、自動的にレーンBへのID登録が開始され、イヤホンから「Connectiong Center Module B」と音声聞こえてきて、レーン表示灯が緑色に点滅します。
- 数秒後に、イヤホンから「Registration Complete」「Hedset **」(**登録したID番号)と音声聞こえ、電源表示灯が点滅から点灯に変わり、これでID登録が完了です。
- ID登録に失敗すると、イヤホンから異常ビープ音と「Failed」と聞こえ、電源表示灯が赤点滅し、異常状態になります。この場合は、再度2からやり直してください。

5 ID登録が完了したら、センターモジュールの「ID Registration」を解除します。

- 本機の「ID Registretion」が解除され、電源表示灯が緑色の点灯に変わります。

メモ

- ID登録中、他の子機は、通話ができなくなります。

■ ボイスプロンプト切り換え

ボイスプロンプトとは、イヤホンから聞こえてくる、子機の状態をユーザーに知らせる英語の音声情報です。ボイスプロンプトで鳴動する音声の設定を切り換えることができます。ボイスプロンプトは「英語」または「ボイスプロンプトなし」から選択できます。

- 1 [POWER] ボタンを2秒以上押して本機の電源を切ります。
- 2 [P] ボタンを押しながら、[POWER] ボタンを1秒以上押して電源を入れます。
 - 電源表示灯が橙点滅し、レーン表示灯は消灯したままになります。
- 3 [T2] ボタンを押すと設定が切り換わり、ビープ音の後に選択中の設定でボイスプロンプトが鳴動します。
[T1] ボタンを押すとビープ音の後に選択中の設定でボイスプロンプトが鳴動します。
英語：“Hello”
ボイスプロンプトなし：ー
- 4 [P] ボタンを押します。
 - 現在選択中の設定で、自動的に再起動します。

■ 親機サーチ

ID登録済みのセンターモジュールから接続可能なセンターモジュールをサーチします。接続可能なセンターモジュールが見つければそのセンターモジュールに接続します。

- この機能を使用するためには、あらかじめ複数のセンターモジュールにID登録しておく必要があります。
- 1 [POWER] ボタンを2秒以上押して本機の電源を切ります。
 - 2 [R] ボタンと[+] ボタンを押しながら、[POWER] ボタンを1秒以上押して電源を入れます。
 - 電源表示灯が赤と緑の交互点灯し、レーン表示灯が速く橙点滅します。
 - 3 接続できるセンターモジュールを見つけたら、電源表示灯が赤/緑の交互点灯をし、レーン表示灯がゆっくり橙点滅します。
 - 5秒後、自動的に再起動し、サーチしたセンターモジュールに接続します。

メモ

- 1台の子機につき、30台のセンターモジュールにID登録することができます。30台目以降は最も長い間接続していないセンターモジュールから順番に上書きしていきます。
- 本機のIDが登録されていないセンターモジュールの場合、イヤホンから「Failed」と聞こえ、電源表示灯が赤点滅します。

設定

■初期化

子機を出荷時の状態に初期化します。

- 1 [POWER] ボタンを2秒以上押し、本機の電源を切ります。
- 2 [+] ボタンと[-] ボタンを押しながら、[POWER] ボタンを1秒以上押し、電源を入れます。
 - 電源表示灯が緑点灯し、レーン表示灯は消灯したままになります。
- 3 [POWER] ボタンを離すと初期化が開始します。
 - 初期化が完了すると自動的に再起動します。

メモ

- 初期化が完了するとID未登録状態となり、電源表示灯が赤点滅し、レーン表示灯が橙点灯します。

重要

- 初期化した際は、センターモジュールで本機のIDの削除を行ってください。詳しくはセンターモジュールの取扱説明書 設定編「ID削除のしかた」をお読みください。

お手入れ

お手入れは

- 電源を切ってから行ってください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

製品表面の汚れがひどいときは

- 水で薄めた中性洗剤を柔らかい布にしみこませ、固くしぼってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。

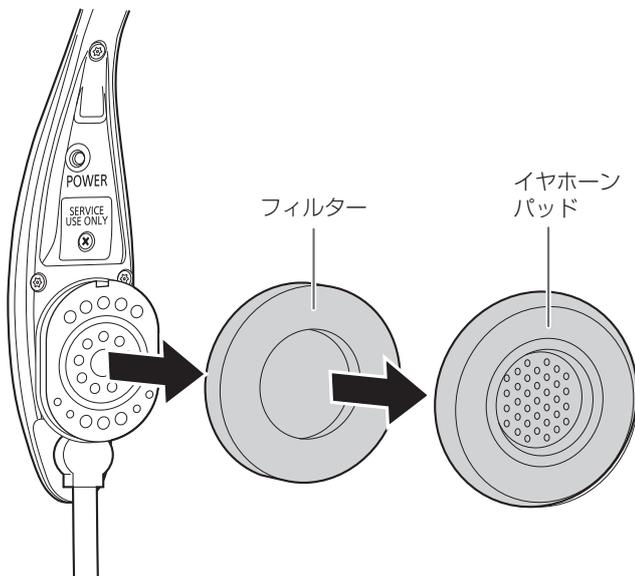
イヤホンパッドのお手入れ

本体からイヤホンパッドをはずし、水で薄めた中性洗剤で手洗いしてください。

洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。

また、イヤホンパッドは交換もできます。

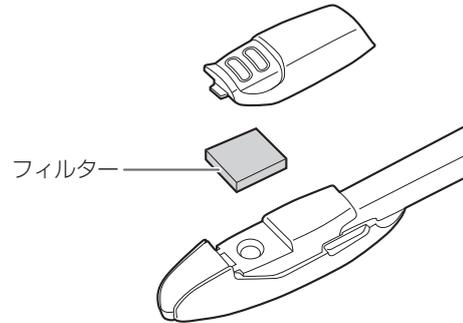
交換をお望みの場合は、販売店に依頼してください。



フィルターの交換

ヘッドセットのマイク部、スピーカー部のフィルターは長期使用により劣化します。

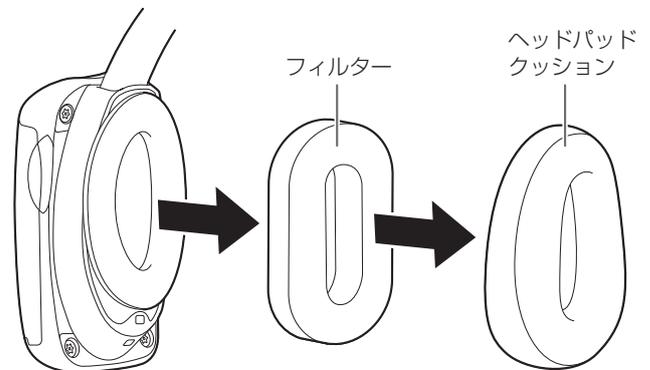
定期的の確認・清掃を行い、必要に応じて交換してください。交換は販売店に依頼してください。



ヘッドパッドクッションの交換

必要に応じて交換してください。

交換は販売店に依頼してください。



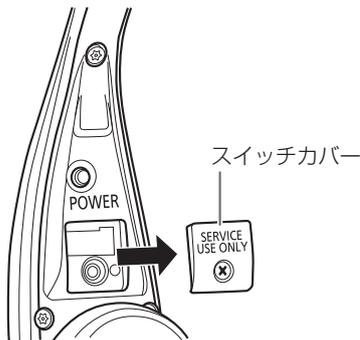
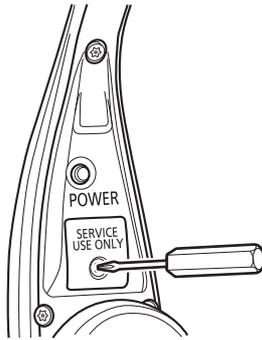
- ヘッドパッドクッションの貼り付けは不要です。

スイッチの設定方法

以下の説明は、設置業者、およびサービスマンが作業を行うためのものです。
販売店に依頼してください。

■スイッチカバー

- 1 電源が切れている時に、ねじを緩めて、スイッチカバーを外します。

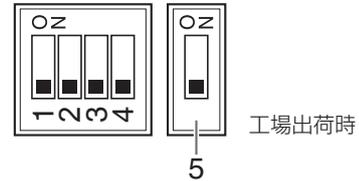


- 2 右側に記載の「■ディップスイッチの設定」を参照してディップスイッチを設定します。

- 3 設定終了後、スイッチカバーを元に戻します。

■ディップスイッチの設定

スイッチカバーを外すと4ビットと1ビットのディップスイッチが見えます。



メモ

- ディップスイッチの設定は、本機の電源を切ってから行ってください。ディップスイッチ設定後、本機の電源を入れることで、ディップスイッチの設定が有効になります。

No.	機能	ON	OFF
1	オートトーク ロック設定	ON	OFF
2	トークボタン設定	トークロック	PTT
3	ページボタン設定	ページロック	PTP
4	センターモジュール 機種選択	—	WX-CC411 WX-CC411A WX-CC412 WX-CC412A
5	未使用	—	通常動作

No.1 オートトークロック設定

- ON： オートトークロック ON
- OFF： オートトークロック OFF

No.2 トークボタン設定

- ON： トークロック
- OFF： PTT

No.3 ページボタン設定

- ON： ページロック
- OFF： PTP

No.4 センターモジュールの機種選択

- 必ず「OFF」にしてください。

No.5 未使用

- 必ず「OFF」にしてください。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源表示灯が赤色点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機のIDがセンターモジュールに未登録で無線接続できない状態です。 → ID登録をしてください。 	P.16
電源表示灯が赤色に点灯している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池容量がもうすぐ無くなります。 → 充電済みの電池に交換してください。 	---
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の残量がないか、電池が正しく挿入されていません。 → 充電済みの電池と交換してください。 電池を正しく挿入してください。 	P.10
他の従業員や顧客と通話ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● センターモジュールの電源が切れています。 → センターモジュールの電源を入れてください。現象が継続する場合は、販売店へご連絡ください。 	センターモジュールの取扱説明書
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機のIDがセンターモジュールに登録されていません。 → ID登録をしてください。 	P.16
他の従業員との通話ができるが、顧客との通話ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両感知器 (Vehicle detector) が、センターモジュールに接続されていない、車両感知器に電源が供給されていない、または車両感知器が故障している可能性があります。 → 車両感知器に電源が供給され、センターモジュールとも正しく接続されていることを確認してください。現象が継続する場合は、販売店へご連絡ください。 	センターモジュールの取扱説明書
特定の場所で「トーク」「ページ」ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● その場所には無線電波が届いてません。 → 電波を遮断する金属製の障害物を取り除いてください。 	---

仕様

使用周波数	1895.616 MHz ~ 1902.528 MHz	
電源	充電式リチウムイオン電池 3.7 V DC	
寸法	160 mm (幅) × 278 mm (高) × 40 mm (奥)	
質量	約 160 g (電池を除く)	
使用周囲温度	-10 °C ~ +50 °C	
マイク	型	コンデンサーマイク
	最大入力レベル	110 dBSPL
ヘッドホン	出力レベル	96 dBSPL
	最大出力レベル	115 dBSPL 以下
	周波数応答	300 Hz ~ 3 kHz
	出力音量制御	+9 dB ~ -18 dB、3 dB ステップ

別売品

本機の別売品として次のものを用意しております。(品番は2014年1月時点のものです)

品名	品番
充電電池パック	WX-B3030
充電器	WX-Z3040A

ビープ音一覧

本機では、下表の内容についてビープ音でお知らせします。

分類	内容	ビープ音※ ¹
来客通知	Aレーン	ピッ (約2秒周期)
	Bレーン	プッ (約2秒周期)
システム通知※ ²	モード変更 (スピードチーム運用開始など)	プー
メッセージ録音※ ²	メッセージ録音開始	プッ
	メッセージ録音終了	プッ
	メッセージ録音終了カウントダウン	プッ プッ プッ ピー
通話	通信確立 (トーク開始、ページ開始、アラート通知)	ピッ
	通信終了 (トーク終了、ページ終了)	プッ
	圏内通知音 (圏外の状態から、センターモジュールと通信可能な状態になった場合)	ピピッ
	通信異常 (トークやページができない場合など)	プププ
音量調整	音量アップ	ピッ
	音量アップ(上限)	ピピッ
	音量ダウン	プッ
	音量ダウン(下限)	プッ
その他	異常発生	プー
	電池残量警告	プー (約5秒周期)

※¹ 同じ表現でも、ビープ音の音程や速さが異なる場合があります。

※² 機能の詳細は、センターモジュールの取扱説明書をお読みください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電話	()	—	
お買い上げ日		年	月	日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(21 ページ) でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 オールインワンヘッドセット

●品番 WX-CH450

●故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号